

韓国における豚コレラの発生について

●韓国における発生概要

発生日：2013年11月27日

発生数：1件(飼養頭数300頭、
症例頭数4頭、淘汰頭数300頭)

臨床兆候あり、感染源は調査中

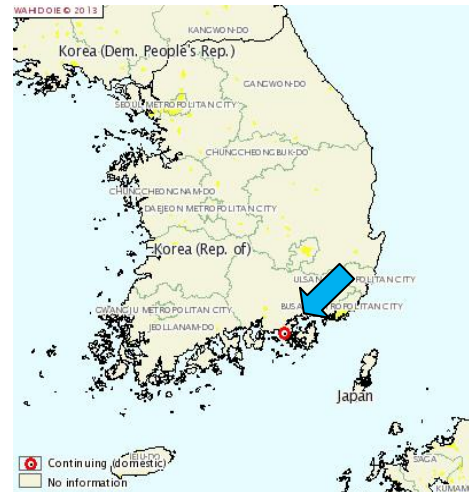
●韓国での対応

淘汰、隔離

国内における移動規制

ワクチン接種、施設などの消毒

患畜を治療対象としない



●発生予防のため、今一度飼養衛生管理基準の確認を！

平成18年に全国的に予防的ワクチン接種が中止されて以降、清浄性の確認検査を実施していますが、現在国内で豚コレラウイルスの動きはありません。

しかし、これからの年末年始及び旧正月は人・物の移動が盛んになり、我が国へのウイルスの侵入リスクが高まるのが危惧されます。このため、動物検疫所では水際対策を強化しているところですが、農場においてもウイルスを侵入させないように車両や畜舎の消毒、豚舎毎の手指消毒や専用長靴の使用など、飼養衛生管理基準の遵守をお願いします。



異状が見られた場合は家畜保健衛生所までご連絡ください。

神奈川県湘南家畜保健衛生所

<本所>

〒259-1215 平塚市寺田縄 345

TEL：0463-58-0152

FAX：0463-58-5679

<西部出張所> (足柄上合同庁舎第2別館3階)

〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島 2489-2

TEL：0465-83-3003

FAX：0465-82-6330